

<人権講話>

R 2, 1 2, 7

1 2月4日～1 0日までの一週間は人権週間です。そこで、今日は人権についてお話しします。人権って何？1年生の子には少し難しいですが、とっても簡単にいうと人はみんなが同じように大切にされて、みんな幸せになることができるということです。このことは国で一番大切なきまりである憲法にきちんと書かれていて、みんなに約束されています。

じゃあ、みなさんはどんな人生を生きていくと幸せと覚じると思いますか？この答えは、一人一人違います。自分で見つけなければいけません。ですから「どんな人生を生きたいのか」は、これから一生かけて、自分で探していく大切なそして難しい問題です。

そこで、今日お話ししたいのは、それを考えるときに大切にしてほしいことが2つあります。それは、「自分だけ幸せ」では絶対にダメだし、「今だけ幸せ」でもよくないということです。

お父さんやお母さん、先生達も、大人は、みんなより長く生きているため、自分の反省や後悔から「今だけ幸せ」にみんながならないようにいろいろアドバイスをします。

例えば「勉強しなさい」というのもそうです。もっと小学生や中学生の頃に勉強しておけばよかったとほとんどの大人が思っています。きっとみんなも同じ後悔をするんじゃないかと心配をして、ついつい「勉強しなさい」と言います。自分の親は、「勉強しなさい」とあまりいわないという人がいたら、それは、そう言えば自分も子どもの頃、親にそう言われてかえって勉強する気がなくなっちゃったと思っているからじゃないかと思っています。

「あいさつしましょう」とか、「係、当番の仕事をしっかりして自分の役割をちゃんと果たせるようになりましょう」など、すべて同じ思いから言っています。

お父さんもお母さんも、先生もみんな、みんなの応えん団です。「今だけ幸せ」にならないようにぜひアドバイスを素直に聞いてほしいと思います。

次に「自分だけ幸せ」になろうという人が増えてくるとどうでしょうか？

わたしたちは、一人一人顔が違うように、好きなことや得意なこと、感じ方や考え方が違います。自分はこんなこと当たり前と思っていることを、そうは思っていない人もいます。当然時には考えがぶつかることもあります。そこで神様はわたしたち人間に言葉という素晴らしいものを与えてくれました。まず、お互いの違いを認め合って、そして、互いの考えを言葉を通じて分かり合い、自分の幸せと同じように周りの人の幸せも大切にできるように、ゆずり合うことが必要です。自分がされていやなことは、絶対に人にしてはいけません。自分だけが特別ということはありません。

実は、毎日勉強しているのは、何が正しいことで、どんなことが美しいかをみんながちゃんとわかって、自分の思いをわかりやすく誤解のないように相手に伝えることができ、周りの人の考えをきちんと聞けるようになるためでもあります。それができないと、なかまはずれが起こったり、陰で人の悪口をいったりということになってしまいます。ひどいときにはいじめにつながってしまいます。

くりかえしますが大人はみんなの応えん団です。今週もまだ教育相談活動が続きますが、困ったことや悩みごとなど何でもいつでも担任の先生に相談してください。そして、いつまでも自分も周りの人も幸せにできるよう、互いの違いを認めあえるようになりましょう。思いやりの心を大切にしましょう。

以上で話を終わります。